（ﾘｽｸｱｾｽﾒﾝﾄ）作 業 手 順 書　雪氷対策作業（溶解槽清掃）

会社名	中日本ﾊｲｳｪｲﾒﾝﾃ名古屋㈱	施工ｹｰｽ	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和3年4月1日		水中ポンプ		ヘルメット、手袋、安全靴、長靴 墜落制止用器具	
改訂日	令和3年4月1日					
作成者	山田					

必要資格等		職長教育講習	作業人員	3　名	その他	
			作業人員	名		

可能性	1：ほとんど起きない（5年に1回程度）	2：たまに起きる（1年に1回程度）	3：かなり起きる（6ヶ月に1回程度）
	頻度率：1	頻度率：2	頻度率：3

×

重大性	軽微（不休災害）	重大（休業災害）	極めて重大（死亡・障害）
	危険度：1	危険度：2	危険度：3

＝

評価	対策変更の必要なし	対策が必要	即座に対策が必要
	1～2	3～4	5～9

作業工程	施工ｹｰｽ	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因（予測される災害・事故）（品質、トラブルも含む）	評価 可能性	評価 重大性	評価	危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	対策後 評価 可能性	対策後 評価 重大性	対策後 評価	参考図（別紙も可）
準備作業			**・作業前ミーティング**										元請施工計画書、施工図、略図、写真等を添付し、作業環境に即した物とすること。
	共通	1	新規入場者のﾁｪｯｸをする。	現場、施工方法等について十分な知識を有していない。	2	2	4	新規入場教育の受講	職長	1	2	2	
	共通	2	健康状態を確認する。	風邪、飲酒等により正常判断ができない。	2	1	2	体調の確認、ｱﾙｺｰﾙﾁｪｯｸを行う。	職長	1	1	1	
	共通	3	服装の点検をする。	足を滑らせ転倒する。	2	2	4	ヘルメット着用	全員	1	2	2	
	共通	4	機械の点検をする。	車両の不具合。	2	1	2	事前点検を確実に実施する。	全員	1	1	1	
	共通	5	朝礼、KYミーティングを行う。	漠然と現場に入り事故を起こす。	2	1	2	KYﾐｰﾃｨﾝｸﾞにて危険箇所を確認する。	全員	2	1	2	
	共通	6	作業手順の確認をする。	各自の作業が分かっていなくて、現場で不安全行動を起こす。	3	1	3	個人の作業内容、作業手順を確認する。	全員	2	1	2	
	共通	7	車両点検、荷姿、ﾌﾟﾚｰﾄﾁｪｯｸをする。	積荷等が落下する。	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを自主とメンテ職員にて行う。	全員	1	2	2	
				業務用プレートの不正使用。	2	1	2	プレートチェックを自主とメンテ職員にて行う。	職長	1	1	1	
移動			**・現場への移動**										
	共通	1	交通ルールを守り運転する。	人身、物損事故。携帯電話使用。シートベルト。	2	3	6	nexcoの一員であることを自覚して運転する。	運転手	1	2	2	
								乗車時は靴の裏の汚れや水分を十分落とす					
	共通	2	高速道路に入る前には、プレートを確認	プレート区域外使用。	2	1	2	車両点検時、荷姿チェック時に確認しておく。	全員	1	1	1	
			しておく。					（自主、メンテ職員）					
	共通	3	車両は、ハンドル切、サイドブレーキ、	車両が動いて、他のものに接触する。	1	2	2	運転席には、ハンドル切、サイドブレーキ、輪止め	運転手	1	2	2	
			輪止めを必ずする。					啓発のプレートを掲げる。（必ず行う）	全員				
本作業			**・溶解槽清掃**										
		1	溶解槽から薬液槽へ備え付けのポンプや水中ポンプで塩水を転送する	バルブ、パイプ等の破損。	2	2	4	ポンプ作動前に各バルブの開閉状況を確認しポンプを作動させる。	全員	1	1	1	
				薬液槽に落下する。	1	2	2	縁から身を乗り出さない。	全員	1	2	2	
		2	溶解槽下部に溜まった塩を除去清掃する	吊りバケツなど道具を下面の作業者に落下させる	2	3	6	物の昇降の際は声をかけ合い、また吊荷の下には入らない	全員	1	2	2	
				プロアーの配管でつまづき転倒する。配管の破線	2	2	4	足元に注意して作業する	全員	1	2	2	
				溶解槽下面に転落する	2	3	6	グレーチングの上で作業する人は墜落制止用器具を着用する	全員	1	2	2	
移動・離脱													